

「担い手育成特定資産事業 活動事例紹介 熊谷 憲幸さん（宮古市）」

執筆者 宮古農業改良普及センター 千葉安紗実

宮古市の熊谷憲幸さんは、令和2年度の新規就農スタートアップ支援事業を活用して、「マルチ管理機」と「動力噴霧器」を導入しました。

熊谷さんは、宮古管内の先進農家での研修を経て、平成28年に就農しました。ブロッコリー、施設トマト、スイートコーンなどを栽培し、産直をメインにJAにも出荷しています。

熊谷さんに機械を導入した感想をうかがいました。「機械を導入するまでは、防除作業は背負い動噴で何度も往復しながら作業し、マルチを張る作業は特定の人に手伝いをお願いしたり、機械を他の人から借りるなどしていました。機械を導入後は、マルチ張り作業は1人でできるようになり、他の人から機械を借りずに済むようになりました。防除作業は今までの1/3程の時間でできるようになり、体の負担も減りました。」と語ってくれました。

機械の導入によって、作業の効率化が図られたようです。今後の熊谷さんのますますの経営発展が期待されます。



熊谷憲幸さんと導入したマルチ管理機



管理機を使用した圃場の様子